

## 第20期

# 運用報告書(全体版)

## 中小型成長株オープン (愛称 スモール・モンスターズ・ジャパン)

【2024年3月4日決算】

### 受益者の皆様へ

平素は格別のご愛顧を賜り厚くお礼申し上げます。  
皆様の「中小型成長株オープン（愛称 スモール・モンスターズ・ジャパン）」は、2024年3月4日に第20期決算を迎えましたので、期中の運用状況ならびに決算のご報告を申し上げます。

今後とも、一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

**SBI** 岡三アセットマネジメント

〒104-0031 東京都中央区京橋2-2-1

お問い合わせは弊社投信営業部へ

フリーダイヤル ☎ 0120-048-214 (営業日の9:00~17:00)

お取引内容につきましては、購入された販売会社にお問い合わせください。

[ホームページ]

<https://www.sbiokasan-am.co.jp>

※アクセスにかかる通信料はお客様のご負担となります。

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／国内／株式
信託期間	2014年3月10日から2029年3月2日までです。
運用方針	主として、わが国の金融商品取引所上場（上場予定を含みます。）株式のうち、相対的に時価総額が中小型規模の株式に投資を行い、投資信託財産の成長を目指して積極的な運用を行います。また、新興市場の株式に積極的に投資する場合があります。
主要投資対象	わが国の金融商品取引所上場（上場予定を含みます。）株式を主要投資対象とします。
投資制限	株式（新株引受権証券および新株予約権証券を含みます。）への投資割合には制限を設けません。 外貨建資産への投資は行いません。
分配方針	毎年3月4日および9月4日（それぞれ休業日の場合は翌営業日）に決算を行い、原則として、以下の方針に基づき、収益分配を行います。 分配対象収益の範囲は、繰越分を含めた経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。 分配金額は、委託会社が分配可能額、基準価額水準等を勘案して決定します。分配可能額が少額の場合や基準価額水準によっては、収益分配を行わないことがあります。

## ○最近5期の運用実績

決算期	基準価額			日経ジャスダック平均株価		TOPIX Small		TOPIX Small (配当込み)		株式組入比率	株式先物比率	純資産額
	(分配落)	税込み分配金	期中騰落率	(参考指数)	期中騰落率	(参考指数)	期中騰落率	(参考指数)	期中騰落率			
	円	円	%	円	%	ポイント	%	ポイント	%	%	%	百万円
16期(2022年3月4日)	21,736	0	△15.6	3,555.84	△12.1	—	—	—	—	94.9	—	552
17期(2022年9月5日)	26,212	0	20.6	—	—	2,293.97	—	—	—	88.9	—	685
18期(2023年3月6日)	27,067	0	3.3	—	—	2,472.11	7.8	—	—	95.3	—	666
19期(2023年9月4日)	28,467	0	5.2	—	—	2,787.41	12.8	—	—	93.5	—	727
20期(2024年3月4日)	32,593	0	14.5	—	—	—	—	4,959.47	—	96.7	—	731

(注) 基準価額および分配金(税引前)は1万円当たり、基準価額の騰落率は分配金(税引前)込み。

(注) 参考指数は、日経ジャスダック平均株価が2022年4月1日で算出終了となったため、2022年4月4日よりTOPIX Smallに変更いたしました。また、2023年12月29日よりTOPIX SmallからTOPIX Small (配当込み)に参考指数を変更いたしました。

(注) 日経ジャスダック平均株価、TOPIX SmallおよびTOPIX Small (配当込み)は当ファンドの参考指数であり、ベンチマークではありません。

(注) 株式先物比率＝買建比率－売建比率。

## ○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額		TOPIX Small		TOPIX Small (配当込み)		株式組入比率	株式先物比率
	騰落率	(参考指数)	騰落率	(参考指数)	騰落率	(参考指数)		
(期首)	円	%	ポイント	%	ポイント	%	%	%
2023年9月4日	28,467	—	2,787.41	—	—	—	93.5	—
9月末	27,035	△5.0	2,717.42	△2.5	—	—	96.6	—
10月末	25,562	△10.2	2,653.52	△4.8	—	—	95.2	—
11月末	27,167	△4.6	2,765.61	△0.8	—	—	95.8	—
12月末	27,776	△2.4	—	—	4,602.20	—	96.0	—
2024年1月末	28,981	1.8	—	—	4,818.49	—	97.7	—
2月末	32,349	13.6	—	—	4,976.35	—	97.7	—
(期末)								
2024年3月4日	32,593	14.5	—	—	4,959.47	—	96.7	—

(注) 騰落率は期首比。

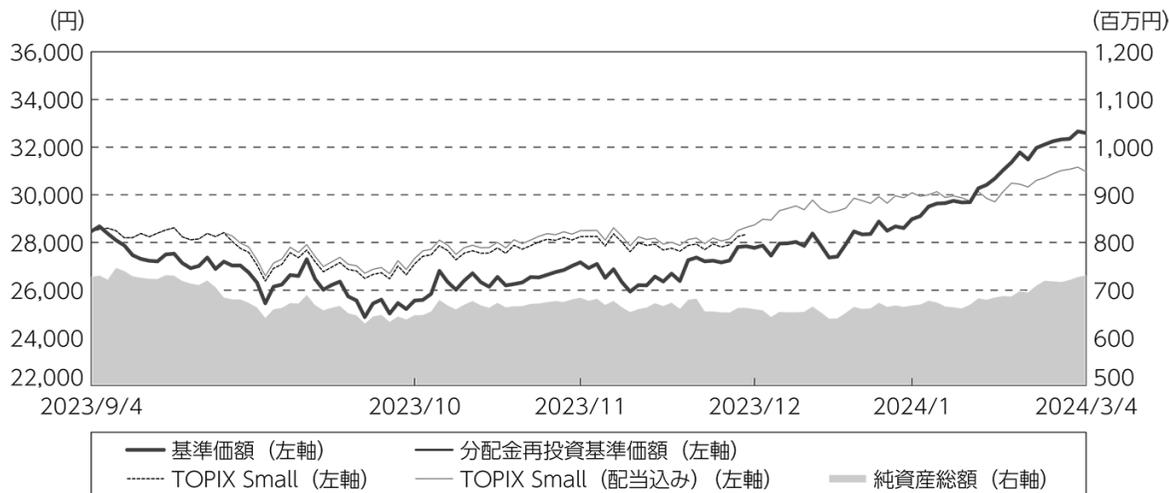
TOPIX Smallの指数値及びTOPIX Smallに係る標章又は商標は、株式会社J P X総研又は株式会社J P X総研の関連会社（以下「J P X」といいます。）の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用などTOPIX Smallに関するすべての権利・ノウハウ及びTOPIX Smallに係る標章又は商標に関するすべての権利はJ P Xが有します。J P Xは、TOPIX Smallの指数値の算出又は公表の誤謬、遅延又は中断に対し、責任を負いません。

配当込みTOPIX Small（以下、「TOPIX Small（配当込み）」といいます。）の指数値及びTOPIX Small（配当込み）に係る標章又は商標は、株式会社J P X総研又は株式会社J P X総研の関連会社（以下「J P X」といいます。）の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用などTOPIX Small（配当込み）に関するすべての権利・ノウハウ及びTOPIX Small（配当込み）に係る標章又は商標に関するすべての権利はJ P Xが有します。J P Xは、TOPIX Small（配当込み）の指数値の算出又は公表の誤謬、遅延又は中断に対し、責任を負いません。

## 運用経過

### 期中の基準価額等の推移

（2023年9月5日～2024年3月4日）



期首：28,467円

期末：32,593円（既払分配金（税引前）：0円）

騰落率：14.5%（分配金再投資ベース）

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 参考指数は、TOPIX SmallおよびTOPIX Small（配当込み）です。
- (注) 分配金再投資基準価額および参考指数は、期首（2023年9月4日）の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 2023年12月29日にTOPIX SmallからTOPIX Small（配当込み）に参考指数を変更いたしました。そのため、TOPIX Smallの推移は2023年12月28日までを記載、TOPIX Small（配当込み）の推移は見やすさの観点から期首（2023年9月4日）より記載しております。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

### ○基準価額の主な変動要因

当ファンドにおける主なプラス要因およびマイナス要因は以下の通りです。

#### (主なプラス要因)

- ・業種配分では、サービス業、保険業、食料品などが基準価額にプラスに寄与しました。
- ・個別銘柄では、F Pパートナー、やまみ、M&A総研ホールディングスなどが基準価額にプラスに寄与しました。

#### (主なマイナス要因)

- ・業種配分では、機械、その他金融業、不動産業などが基準価額にマイナスに影響しました。
- ・個別銘柄では、ダイコク電機、エムアップホールディングス、弁護士ドットコムなどが基準価額にマイナスに影響しました。

## 投資環境

（2023年9月5日～2024年3月4日）

当期の国内株式市場は、上昇しました。米国の長期金利上昇や中東情勢悪化への懸念から一時的に弱含む局面もありましたが、期末にかけて上昇する展開となりました。円安が進行したことで輸出企業の業績懸念が後退したことや、増配、自己株式取得など株主還元拡充の発表が相次ぎ、日本企業の変化を好感した海外投資家の資金流入が継続し国内株式市場の上昇をけん引しました。

## 当ファンドのポートフォリオ

（2023年9月5日～2024年3月4日）

当ファンドの運用につきましては、企業の中長期的な利益成長ポテンシャルや業績変化に着目した銘柄選別を実施しました。

具体的には、データセンター向け製品の販売拡大に伴う利益成長が期待される日東紡績や、クラウドサービスの利用企業数の増加に伴う利益成長が期待されるフレクトなどを買い付けました。一方、スマート遊技機関連製品の需要に一服感がみられたダイコク電機や、プロモーション費用の増加による業績への短期的な悪影響が懸念された弁護士ドットコムなどを売却しました。

## 当ファンドのベンチマークとの差異

（2023年9月5日～2024年3月4日）

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。参考指数は、2023年12月28日まではTOPIX Smallでしたが、2023年12月29日以降は、TOPIX Small（配当込み）に変更いたしました。このため、当期中に参考指数が変更となったことからファンドとの比較ができないため、「基準価額と参考指数の対比（騰落率）」の掲載は行っておりません。

## 分配金

（2023年9月5日～2024年3月4日）

当ファンドは毎年3月4日および9月4日（それぞれ休業日の場合は翌営業日）に決算を行い、委託会社が分配可能額、基準価額水準等を勘案のうえ分配金額を決定します。

当期の分配につきましては、基準価額水準が当初元本を上回っておりますが、信託財産の成長に重点を置くこととし、見送りとさせていただきます。なお、留保益の運用につきましては、運用の基本方針と同一の運用を行ってまいります。

（単位：円、1万口当たり・税引前）

項 目	第20期
	2023年9月5日～ 2024年3月4日
当期分配金	—
（対基準価額比率）	—%
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	22,592

（注）対基準価額比率は当期分配金（税引前）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

## 今後の運用方針

国内株式市場は、堅調に推移すると予想します。日本企業の業績見通しは上方修正が継続しており、株価指標面から現在の株価水準に割高感はないと見ています。短期的には年金の調整売りや利益確定売りに押される局面も想定されますが、投資家の押し目買い意欲が強いことや、企業による自己株式取得の買いが下支え要因となることが期待されるため、下落幅は大きくならないと考えています。

当ファンドの運用につきましては、中小型・新興市場株の中から、高い技術力や優れた商品開発力、特徴あるビジネスモデル、事業構造の改革などに着目し、飛躍的な成長が期待される企業の株式に投資します。

今後の運用につきましては、積極的な企業取材を通じて、業績変化率と株価バリュエーション、また株主還元余地などに着目した銘柄選択を心掛けてまいります。

※文中の投資行動は、個別銘柄の売買等いかなる投資行動も推奨するものではありません。

○ 1 万口当たりの費用明細

（2023年9月5日～2024年3月4日）

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円	%	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
（ 投 信 会 社 ）	131	0.465	委託した資金の運用の対価
（ 販 売 会 社 ）	( 62 )	( 0.219 )	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（ 受 託 会 社 ）	( 62 )	( 0.219 )	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
	( 8 )	( 0.027 )	
(b) 売 買 委 託 手 数 料	40	0.141	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数
（ 株 式 ）	( 40 )	( 0.141 )	売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(c) そ の 他 費 用	2	0.006	(c) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（ 監 査 費 用 ）	( 2 )	( 0.005 )	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（ そ の 他 ）	( 0 )	( 0.000 )	その他は、金銭信託支払手数料
合 計	173	0.612	
期中の平均基準価額は、28,145円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

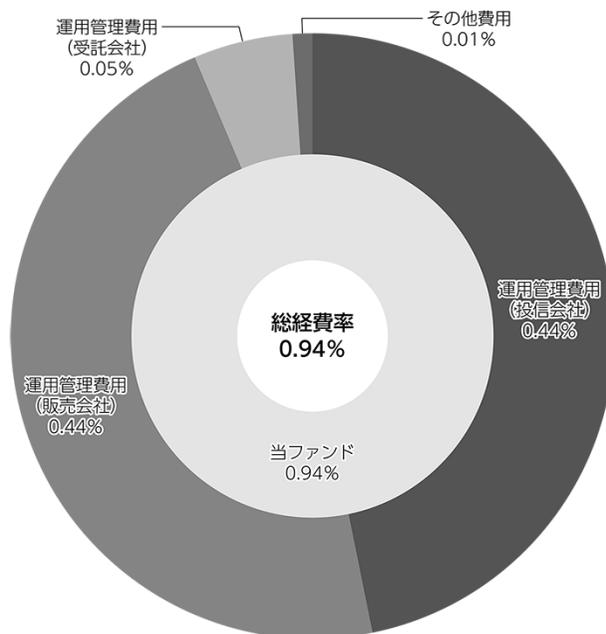
(注) 各金額において基準価額は円未満切捨て、その他は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

（参考情報）

○総経費率

期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は0.94%です。



(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

## ○売買及び取引の状況

（2023年9月5日～2024年3月4日）

### 株式

		買 付		売 付	
		株 数	金 額	株 数	金 額
国 内	上場	千株 311	千円 496,660	千株 390	千円 557,001

（注）金額は受渡代金。

（注）単位未満は切捨て。

## ○株式売買比率

（2023年9月5日～2024年3月4日）

### 株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	当 期
(a) 期中の株式売買金額	1,053,661千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	653,382千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	1.61

（注）(b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均です。

## ○利害関係人との取引状況等

（2023年9月5日～2024年3月4日）

### 利害関係人との取引状況

区 分	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$
株式	百万円 496	百万円 61	% 12.3	百万円 557	百万円 39	% 7.0

### 利害関係人である金融商品取引業者が主幹事となって発行される有価証券

種 類	買 付 額
株式	百万円 2

（注）単位未満は切捨て。

売買委託手数料総額に対する利害関係人への支払比率

項 目	当 期
売買委託手数料総額 (A)	958千円
うち利害関係人への支払額 (B)	75千円
(B) / (A)	7.9%

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは株式会社SBI証券です。

○組入資産の明細

(2024年3月4日現在)

国内株式

銘柄	期首(前期末)	当 期 末	
	株 数	株 数	評 価 額
	千株	千株	千円
<b>建設業 (2.3%)</b>			
ライト工業	11.8	—	—
中外炉工業	—	5.5	16,153
<b>食料品 (1.4%)</b>			
やまみ	7.8	2.8	10,164
<b>パルプ・紙 (—%)</b>			
ザ・バック	7.1	—	—
<b>化学 (6.4%)</b>			
第一工業製薬	—	3.3	10,956
中国塗料	—	8.2	16,965
有沢製作所	—	15.3	17,610
<b>ガラス・土石製品 (6.9%)</b>			
日東紡績	—	6.6	39,468
日本ヒューム	—	10.4	9,276
<b>非鉄金属 (—%)</b>			
大阪チタニウムテクノロジーズ	5.4	—	—
<b>金属製品 (3.9%)</b>			
川田テクノロジーズ	—	3.1	27,683
<b>機械 (6.3%)</b>			
平田機工	5.5	5.5	44,605
タツモ	5.6	—	—
ダイコク電機	7.9	—	—
<b>電気機器 (6.0%)</b>			
日本マイクロニクス	—	0.8	6,584
図研	6	7.5	35,850
<b>精密機器 (7.1%)</b>			
タムロン	8.1	5.7	36,537
ニプロ	—	11.5	13,966
<b>その他製品 (2.3%)</b>			
フルヤ金属	—	1.6	16,160
<b>情報・通信業 (15.0%)</b>			
VRAIN Solution	—	0.1	554
エムアップホールディングス	20.5	6.8	7,643

銘柄	期首(前期末)	当 期 末	
	株 数	株 数	評 価 額
	千株	千株	千円
じげん	35.3	—	—
I Gボート	6.2	7.1	42,316
セーフィー	—	4.2	2,877
フレクト	—	5.3	34,821
Sansan	11	—	—
トランザクション・メディア・ネットワークス	21.1	4.8	3,336
グリッド	1.7	—	—
エコナビスタ	1.7	4.7	14,405
ビジョン	15.1	—	—
<b>卸売業 (4.8%)</b>			
BuySell Technologies	3.8	—	—
西華産業	7.1	10.9	33,735
東陽テクニカ	10.8	—	—
<b>保険業 (7.2%)</b>			
F Pパートナー	7.9	7.1	50,765
<b>不動産業 (—%)</b>			
ティーケービー	5.5	—	—
<b>サービス業 (30.4%)</b>			
弁護士ドットコム	7.5	—	—
ジャパンマテリアル	12.5	12.5	32,587
フロンティア・マネジメント	13	13	23,894
ステムセル研究所	4.4	—	—
GENDA	8	15.2	56,316
サンウエルズ	8.7	6.6	18,803
大栄環境	12.9	12.9	36,184
I N F O R I C H	—	2.3	9,142
M&A総研ホールディングス	5.6	5.3	37,630
合 計	株数・金額 銘柄数<比率>	285 30	206 30
		706,991	<96.7%>

(注) 銘柄欄の( )内は、国内株式の評価総額に対する各業種の比率。

(注) 合計欄の< >内は、純資産総額に対する評価額の比率。

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

○投資信託財産の構成

(2024年3月4日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
株式	千円 706,991	% 95.6
コール・ローン等、その他	32,266	4.4
投資信託財産総額	739,257	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況（2024年3月4日現在）

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	739,257,186
コール・ローン等	26,865,742
株式（評価額）	706,991,250
未収入金	2,911,189
未収配当金	2,489,000
未収利息	5
(B) 負債	8,134,817
未払解約金	4,956,358
未払信託報酬	3,141,337
その他未払費用	37,122
(C) 純資産総額（A－B）	731,122,369
元本	224,321,485
次期繰越損益金	506,800,884
(D) 受益権総口数	224,321,485口
1万円当たり基準価額（C/D）	32,593円

(注) 計算期間末における1口当たりの純資産額は、3,2593円です。  
 (注) 当ファンドの期首元本額は255,659,802円、期中追加設定元本額は51,198,966円、期中一部解約元本額は82,537,283円です。

○損益の状況（2023年9月5日～2024年3月4日）

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	4,610,401
受取配当金	4,615,189
受取利息	90
その他収益金	220
支払利息	△ 5,098
(B) 有価証券売買損益	89,416,381
売買益	183,043,700
売買損	△ 93,627,319
(C) 信託報酬等	△ 3,179,949
(D) 当期損益金（A＋B＋C）	90,846,833
(E) 前期繰越損益金	66,638,710
(F) 追加信託差損益金	349,315,341
（配当等相当額）	（ 262,098,485）
（売買損益相当額）	（ 87,216,856）
(G) 計（D＋E＋F）	506,800,884
(H) 収益分配金	0
次期繰越損益金（G＋H）	506,800,884
追加信託差損益金	349,315,341
（配当等相当額）	（ 262,098,485）
（売買損益相当額）	（ 87,216,856）
分配準備積立金	157,485,543

(注) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は、期末の評価換えによるものを含みます。  
 (注) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。  
 (注) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定した価額から元本を差し引いた差額分をいいます。  
 (注) 収益分配金

決算期	第20期
(a) 配当等収益（費用控除後）	4,454,583円
(b) 有価証券等損益額（費用控除後、繰越欠損金補填後）	86,392,250円
(c) 信託約款に規定する収益調整金	349,315,341円
(d) 信託約款に規定する分配準備積立金	66,638,710円
分配対象収益（a＋b＋c＋d）	506,800,884円
分配対象収益（1万円当たり）	22,592円
分配金額	0円
分配金額（1万円当たり）	0円

<お知らせ>

ファンドの運用の基本方針等に変更はなく、信託期間を延長することにより引き続き投資者の皆さまに継続して投資機会を提供させていただくため、信託期間の終了日を2024年3月4日から2029年3月2日に変更しました。（実施日：2023年12月2日）

**用語解説**

○資産、負債、元本及び基準価額の状況は、期末における資産、負債、元本及び基準価額の計算過程を表しています。主な項目の説明は次の通りです。

項目	説明
<b>資産</b>	ファンドが保有する財産の合計です。
コール・ローン等	金融機関向けの安全性の高い短期貸付運用などの残高です。
各種有価証券等(評価額)	組入れた株式・債券・ファンドなどの評価金額です。
未収入金	入金が予定されている有価証券の売却代金などです。
未収配当金	入金が予定されている株式の配当金等です。
未収利息	入金が予定されているコール・ローン等の利息や債券の利息の合計です。
<b>負債</b>	支払いが予定されている金額の合計です。
未払収益分配金	期末時点で支払いが予定されている収益分配金です。
未払解約金	支払いが予定されている解約金です。
未払信託報酬	支払いが予定されている信託報酬の額です。
その他未払費用	支払いが予定されている監査費用、その他の費用です。
<b>純資産総額(資産－負債)</b>	ファンドが保有する財産の合計から支払いが予定されている金額の合計を差し引いたものです。
元本	ファンド全体の元本残高です。
次期繰越損益金	純資産総額と元本の差額(翌期に繰り越す損益金の合計額)です。
<b>受益権総口数</b>	受益者が保有する受益権口数の合計です。
1(万)口当たり基準価額	1(万)口当たりのファンドの時価です。

**用語解説**

○損益の状況は、期中にファンドがどのような収益や損失を計上したかを表しています。主な項目の説明は次の通りです。

項目	説明
<b>配当等収益</b>	ファンドが受取った配当金・利息等の合計です。
受取配当金	保有する株式等の配当金等です。
受取利息	債券、コール・ローン等の利息等です。
<b>有価証券売買損益</b>	有価証券の売買損益と期末の評価損益の合計額です。
売買益	売買益と期末評価益の合計です。
売買損	売買損と期末評価損の合計です。
<b>信託報酬等</b>	信託報酬のほか保管費用、監査費用、その他の費用と、それに掛かる消費税等相当額です。
<b>当期損益金</b>	当期における収支合計です。
<b>前期繰越損益金</b>	前期分の分配準備積立金と繰越損益金の合計額から当期中の解約に対する持分を控除した金額です。
<b>追加信託差損益金</b>	受益者がファンドに払い込んだ金額と元本との差額です。
(配当等相当額)	配当等に相当する額です。
(売買損益相当額)	売買損益に相当する額です。
<b>計</b>	収益分配前の期中の収支の総合計です。
<b>収益分配金</b>	期中の分配可能額から受益者に支払われる分配金です。
<b>次期繰越損益金</b>	翌期に繰り越す損益金の合計です。
追加信託差損益金	翌期に繰り越す追加信託差損益金です。
(配当等相当額)	配当等に相当する額です。
(売買損益相当額)	売買損益に相当する額です。
分配準備積立金	翌期に繰り越す分配準備積立金の額です。
繰越損益金	翌期に繰り越す損益金の額です。